

## KHJ 全国ひきこもり家族会連合会の理念（ミッション）

私達の親世代は戦後、廃墟の中から「おなか一杯ご飯を食べたい。」「生活が便利になる電化製品を購入する。」等の思いで身を粉にして正月の1日だけの休み早朝から深夜まで働き詰めの日々を送って来た。

そして、今や世界の奇跡と言われるような経済発展を成し遂げ、欲しいものはほぼ手に入れ、満足のいくような生活環境になり、戦後目指してきた社会を築けた気がしていたが、ふと気づくと自分の子どもが何かおかしい。

もしかして「ひきこもり？」こんなはずではなかった。近所には知らない人が引っ越ししてきて、朝の挨拶もしない社会になって、隣の人はどんな人なのか、どんな仕事をしているのか、わからなくても生きていける地域社会になったけど、何かがおかしいと気づく。

そんな思いの家族が日本の社会に何十万世帯もある事を知り、この年齢になって現実を知る。こんなはずではなかったと悔やむ。

この様な思いをしているご家族に対して、あなただけでは無い事や同じ思いをしているご家族が沢山いる事を理解してもらい、改めて自分たちで支え合う仲間作りをし、おかしくなった日本の社会に「生きるとは何だ？」「豊かさとは何だ？」「人間の幸せとは何だ？」を問い、自分も子どももあんなことがあったけど、ここまで生きて来て良かったと思える社会を作っていく。

この様な思いから、KHJ 全国ひきこもり家族会連合会の理念(ミッション)を以下のとおりとする。

私たちは、誰もが夢や希望を持ち、自由と平等が保障される社会  
を目指し、この街でこの国で生きててよかったと思える地域社会を  
つくる事に寄与できる団体を目指す。

2016年9月18日

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会

共同代表 伊藤正俊（地域福祉・地域連携）

共同代表 中垣内正和（医療・研究）